常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ハード対策	■危機管理型ハード対策	①　国管理区間 ・天端保護 （常呂左・右岸地 区、福山左・右岸地区、日吉左・右岸地区、上常呂左・右岸地区、置戸上流右岸地区）	R2年度までに実施	網走開建		－	－	【天端保護】 R2年以降：常呂左・右岸、端野左岸、上常呂左・右岸、置戸上流右岸、福山左岸・右岸、日吉左岸・右岸
			②　道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H29年度から実施	振興局		・堤防天端の保護箇所の検討と実施 【天端保護】 訓子府川（実施） 無加川（検討）	・堤防天端の保護箇所の検討 【天端保護】 無加川（検討）	・堤防天端の保護箇所の実施 【天端保護】 無加川（東相内地区、留辺蘂地区で実施予定）
		■防災活動拠点の整備	①　大規模災害時における活動拠点等の計画検討及び既存拠点における自家発電装置の設置や耐水化の検討	H28年度から実施	置戸町		・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた自家発電装置の設置検討	・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた各主要施設へ自家発電機の設置検討 ・避難施設の停電時切り替えシステムの導入検討	・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた各主要施設へ自家発電機の配備準備 ・避難施設の停電時切り替えシステム整備
		■避難勧告等情報伝達機器の整備	①　高齢者をはじめとする住民への的確な情報伝達を図るため、防災情報伝達システムの整備を実施	H28年度から実施	訓子府町		・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・町内2自治会で自主防災組織が結成	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・防災拠点、避難所に公衆無線LANを整備	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の育成を図る
					置戸町		・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の育成を図った ・平成30年4月より、デジタル防災行政無線及び戸別受信機の運用開始	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の設立支援と育成 ・広報車両の放送機材の更新	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の設立支援と育成を図る
			②　避難勧告等の発令タイミングの精度向上に資する水文観測機器の整備	H29年度から実施	網走開建		・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置 ・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置	・必要に応じて、水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計及び監視カメラを設置
					振興局		・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計設置を行った N=8基設置 （東亜川、ｷﾅﾁｬｳｼﾅｲ川、ﾙｸｼﾆｺﾛ川、小石川、ﾍﾟﾝｹﾋﾞﾊﾞｳｼ川、ｵﾛﾑｼ川、訓子府川、愛の川）	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置 N=13基設置予定（無加川ほか） ・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置予定 N=16基設置予定（訓子府川ほか）	－
					北見市		・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置(無加川・訓子府川)	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置(ポン隈川・ハナワビバウシ川)	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置（端野自治区小幡川）

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	① 想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図（浸水ナビ）の公表	H28年度までに実施	網走開建	完	－	・鹿ノ子ダム下流河川における浸水想定図を作成	－
				振興局	完	・その他の支川についても簡易的な手法を用いた危険区域図を関係市町に提供。 （常呂川、愛の川、オシマ川ほか）	－	－
		② 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた避難場所や避難経路の設定と広域的な二次避難所等の検討	H28年度から実施	北見市		・新たな洪水浸水想定に基づく常呂川、無加川下流及び北海道管理河川流域(北見・留辺蘂自治区)のハザードマップの作成に伴い、避難所の見直しを行った	・各種機会を通じた避難所等の周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進	・各種機会を通じた避難所等の周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進
				訓子府町		・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直しの検討 ・広域的な二次避難所等の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直しの検討 ・広域的な二次避難所等の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直し ・広域的な二次避難所等の検討
				置戸町		・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し	・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し	・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し
		③ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの検討	H28年度から実施	網走開建		・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・関係市町について支援要請がなかった	・必要に応じ、関係市町について支援を実施していく予定
			H29年度から実施	気象台		・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・必要に応じて支援など行う
				振興局		・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった	・必要に応じ、支援を実施していく（補助事業の紹介等）
				北見市		・新たな洪水浸水想定に基づく常呂川、無加川下流及び北海道管理河川流域(北見・留辺蘂自治区)のハザードマップを作成した。	・各種機会を通じた周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進	・各種機会を通じた周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進
			H28年度から実施	訓子府町		・道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップ作成の準備	道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップ作成の準備	道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップの作成
				置戸町		・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施	・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施 ・国管理河川以外の浸水想定区域に基づいた防災ガイドマップの更新検討	・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施 ・国管理河川以外の浸水想定区域に基づいた防災ガイドマップの更新

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	④　円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築	H28年度から実施	網走開建		・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				振興局		・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
			H29年度から実施	自衛隊		・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
				北海道警察		・共有を図った	・情報等の共有を図った	・情報等の共有を図る
			R1年度から実施	北見警察署		－	連絡体制網を構築し、通行止め情報の共有を図った	連絡体制網を構築し、通行止め情報の共有を図る
			H28年度から実施	北見市		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				訓子府町		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				置戸町		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				消防組合		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
		⑤　大規模水害による長期浸水を考慮した二次避難への移行基準及び移動手段の検討と避難所生活の長期化を考慮した災害用備蓄物資量の検討と配備	H28年度から実施	北見市		・災害用備品の継続整備	・災害用備蓄品の継続整備	・災害用備蓄品の継続整備
				訓子府町		・備蓄ガイドラインに基づく緊急物資の整備	・備蓄ガイドラインに基づく緊急物資の整備	・備蓄ガイドラインに基づく緊急物資の整備 ・二次避難移行基準などの検討
				置戸町		・二次避難移行基準などの検討 ・長期化に備えた備蓄物資品の検討	・二次避難移行基準などの検討 ・長期化に備えた備蓄物資品の整備	・二次避難移行基準などの検討 ・長期化に備えた備蓄物資品の継続整備

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	①　住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H29年度まで実施	網走開建			完				・プッシュ型情報配信をH30年5月に4水系10市町村に拡大	・プッシュ型配信による情報について、住民がより理解しやすい内容となるように緊急速報メール配信文を更新 ・HPや出前講座等で広報活動を行った	・HPや出前講座等で広報活動を行う
		②　メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク（自主防災組織等）の構築	H28年度から実施	北見市							・避難行動支援者名簿の作成 ・避難支援等関係者への名簿情報の提供	・自主防災組織結成の促進を図った ・避難支援等関係者への名簿情報の提供	・自主防災組織結成の促進を図る
				訓子府町							・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・町内2自治会で自主防災組織が結成	・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図る
				置戸町							・メール配信サービス利用促進（登録者の増）を図った ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築（避難行動要支援者への連絡体制） ・平成30年4月より、デジタル防災行政無線及び戸別受信機の運用開始	・メール配信サービス利用促進（登録者の増）を図った ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築（避難行動要支援者への連絡体制） ・広報車両の放送機材の更新	・メール配信サービス利用促進（登録者の増）を図る ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築（避難行動要支援者への連絡体制）
				消防組合							・継続実施	・継続実施	・引き続き実施
		③　わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善	H29年度までに実施	網走開建		完					－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良 ・災害の切迫感を分かりやすく伝えるため、上流から下流まで連続的に、洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」による情報提供を開始	－
				気象台			完				－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良 ・自主避難や各市町の適切な避難情報発令のため、リアルタイムでの大雨の「危険度分布」に洪水浸水想定区域等を重ね合わせた表示に更新	－

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	④　避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市町職員向けマニュアルの作成や想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた地域防災計画の見直し	H28年度から実施	北見市		・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しを検討	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の所要の修正（令和元年度中）	・水防法、国ガイドライン、道地域防災計画との照合、整合を図りながら関連計画、マニュアルの整備検討
				訓子府町		・水災害に関するマニュアル等の整備を図った ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し準備	・水災害に関するマニュアル等の整備・見直しを図る ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し準備	・水災害に関するマニュアル等の整備・見直しを図る ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し
				置戸町		・水災害に関するマニュアル等の整備を図った ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の準備	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の準備
		⑤　訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良（H28年8月洪水を踏まえ、道路通行に関するタイムラインの検討を含む）	H29年度から実施	網走開建		・常呂川下流地区水害タイムライン策定に向け、H30年11月に自治体ワーキンググループ、H30年12月及びH31年2月に検討会を開催	・常呂川下流地区水害タイムライン試行版を作成し、運用を開始。また、関係機関と連携し、見直しを行った。	・常呂川下流地区水害タイムライン試行版の運用を行い、関係機関と連携し、必要に応じて見直しを行う。
				気象台		・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参画	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・振興局作成のタイムライン見直しに協力	・常呂川下流地区水害タイムライン試行版の運用を行い、関係機関と連携
				振興局		・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・水位周知河川について、構成市町と協議し、避難勧告着目型タイムラインを作成	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した ・避難名勧告等に関するガイドラインの変更を踏まえた避難勧告着目型タイムラインを作成した	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加する ・今後の洪水状況等において地域の課題を検証するとともに、必要に応じてタイムライン見直しを行っていく
				自衛隊		・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加及び試行の見直し実施	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				北海道警察		・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・関係機関との訓練を通じ、必要に応じてタイムラインの見直しを行っていく
			R1年度から実施	北見警察署		－	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムラインの運用を行い、必要に応じ見直しを行う

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	⑤　訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良（H28年8月洪水を踏まえ、道路通行に関するタイムラインの検討を含む）	H29年度から実施	北見市		・常呂川下流地区水害タイムライン検討会（自治体ワーキンググループ）に参画	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会（自治体ワーキンググループ）に参画 ・防災関係機関と訓練を実施し、タイムラインの見直しを行った	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会（自治体ワーキンググループ）に参画 ・防災関係機関と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				訓子府町		・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会を傍聴	・タイムラインの検討を継続している	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				置戸町		・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				消防組合		・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する
	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	①　住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、常呂川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	網走開建		・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加 ・学校現場での防災教育を支援するため副読本を作成	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加 ・北見工業大学　地域と歩む防災研究センターと連携協定を結び、地域の防災力向上を図った	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加
				気象台		・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加	・置戸町境野地区自主防災組織防災訓練に参加 ・1日防災学校や防災授業の実施に協力（置戸中、北見柏陽高）	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加
				振興局		・関係機関の講習会や防災学習等に参加	・一日防災学校の実施(置戸中学校) ・市町村主催の総合防災訓練への参加 ・北海道総合防災訓練（厳冬期）の実施（北見市共催）	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加
				自衛隊		・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習に等に参加	・関係機関の訓練等に参加、また、講習会や防災学習に等に参加	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加
				北海道警察		・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加	・関係機関の訓練等に参加	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、常呂川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	R1年度から実施	北見警察署							－	・関係機関の訓練等に参加 ・ミニ広報誌や各種報道活動を通じて防災意識を啓発	・関係機関の訓練等に参加 ・ミニ広報誌や各種報道活動を通じて防災意識を啓発
			引き続き実施	北見市							・子どもや住民を対象とした出前講座の実施 ・関係機関や民間企業を交えた総合防災訓練の実施	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施 ・関係機関や民間企業を交えた総合防災訓練の実施	・今後も引き続き実施していく
				訓子府町							・自主防災組織主体の防災訓練を実施	・自主防災組織主体の防災訓練を推進	・今後も引き続き実施していく
				置戸町							・H28と同様の取り組みを実施 ・自主防災組織設立及び養成を目的とした学習会の実施	・H30の取組を継続して実施 ・置戸中学校による1日防災学校の実施 ・防災訓練の実施 ・要配慮者利用施設への防災教育の実施	・R1の取組を引き続き実施していく
				消防組合							・関係機関の訓練等に参加、講演会や防災学習等に参加	・関係機関の訓練等に参加、講演会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加
		② 関係機関や地域住民のほか民間企業も参加した総合的な防災訓練の実施	引き続き実施	網走開建							・各関係機関主催の訓練等に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供した	・訓練に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供	・引き続き訓練に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供
			引き続き実施	気象台							・各関係機関主催の訓練等に参加	・各関係機関主催の訓練等に参加 他の行事等と重なり、北見市へは参加することができなかった	・引き続き訓練に参加
				振興局							・北見市防災総合訓練に参加	・北見市防災総合訓練に参加	・引き続き訓練に参加予定
				自衛隊							・各関係機関主催の訓練等に参加	・訓練に参加	・引き続き訓練に参加
				北海道警察							・各関係機関主催の訓練等に参加	・訓練に参加	・引き続き訓練に参加
			R1年度から実施	北見警察署							－	・関係機関の訓練等に参加	・関係機関の訓練等に参加

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	② 関係機関や地域住民のほか民間企業も参加した総合的な防災訓練の実施	引き続き実施	北見市							・防災総合訓練を実施	・防災総合訓練を実施	・引き続き総合防災訓練を実施
				消防組合							・各関係機関主催の訓練等に参加	・各関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き訓練に参加
			H29年度から実施	置戸町							・平成30年度は、防災学習会を複数回実施	・関係機関が参加する防災訓練を実施 ・防災訓練のほか学習会を複数回実施	・関係機関及び民間企業が参加した総合的な防災訓練の実施 ・R1に引き続き各地区の防災訓練及び学習会を実施
			H30年度から実施	訓子府町							・関係機関を交えた総合防災訓練の実施	・北海道総合防災訓練に参加	・各関係機関主催の訓練等に参加
		③ 流域住民や関係機関に対して、ダムの機能や効果、洪水時における操作と体制に関する防災教育の実施	引き続き実施	網走開建							・高校生や流域住民が参加したダム見学会を実施	・関係機関に鹿ノ子ダムの防災操作等を説明し、「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」の提言に関する情報提供	・引き続き実施
				北見市							・子どもや住民を対象とした出前講座の実施	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施	・引き続き実施を検討
				訓子府町							・継続実施 ・網走開建の協力を得て、広報等での周知等	・網走開建の協力を得て、町内会長を対象に鹿ノ子ダムの放流について説明	・引き続き実施
				置戸町							・町広報誌で周知	・町広報誌で周知 ・地区防災訓練において鹿ノ子ダム管理支所による防災教育を実施	・町広報誌での周知、町民向け防災学習及び小中学生を対象にした出前講座の実施について網走開建との協議及び検討
		④ 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H29年度から実施	振興局							・要配慮者施設情報の基礎資料提供	・支援の要請はなかった	・必要に応じ、支援を実施
			H30年度から実施	北見市							・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握を推進 ・要配慮者施設の避難確保計画作成に向けた部内での体制構築を検討	・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握 ・要配慮者施設が避難確保計画を作成するよう部内での体制を構築中	・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握 ・継続的な避難確保計画の作成促進、作成状況の確認及び作成支援方法の検討

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	④　要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H30年度から実施	訓子府町							・浸水区域内における要配慮者施設を把握 ・町内の要配慮者施設が作成する避難確保計画の作成支援	・支援の要請はなかった	・町内の要配慮者施設が作成する避難確保計画の作成支援を行う
					置戸町							・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援	・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援	・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援
			⑤　要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施	R1年度から実施	北見市							・防災総合訓練実施会場地域に所在する要配慮者利用施設の避難訓練促進及び参加	・防災総合訓練実施会場地域に所在する要配慮者利用施設の避難訓練促進及び参加	・要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施に係る支援
					訓子府町							－	・支援の要請はなかった	・要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練を実施する場合には、必要に応じ支援を行う
					置戸町							・避難計画未策定につき、訓練未実施	・避難確保計画未策定につき、未実施	・上記で作成された要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練を実施する場合には、必要に応じて支援を行う
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	①　国管理区間 ・河道掘削 （常~~呂左岸地区、~~福山左・右岸地 区、日吉左・右岸地区） ・浸透対策 （~~上常呂左岸地区、~~訓子府右岸地区）	R2年度までに実施	網走開建							【河道掘削】 福山左岸・右岸	【河道掘削】 福山左岸・右岸、日吉左岸・右岸	【河道掘削】 引き続き実施 【浸透対策】 R2以降:訓子府右岸
			②　北海道管理区間 ・河川整備:河道掘削、堤防整備（無加川上流、小石川、日吉川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、ポンケトナイ川）	H28年度から実施	振興局							・河道掘削や堤防整備等を実施 【河道掘削】 無加川、日吉川、ﾙｸｼﾆｺﾛ川、ﾎﾟﾝﾆｺﾛ川、ﾎﾟﾝｹﾄﾅｲ川 【堤防整備】 日吉川、ﾙｸｼﾆｺﾛ川 ・小町川の改修に向け、環境調査等を実施	・河道掘削や堤防整備等を実施 【河道掘削】 無加川、日吉川、ﾙｸｼﾆｺﾛ川、ﾎﾟﾝﾆｺﾛ川、ﾎﾟﾝｹﾄﾅｲ川、訓子府川 【堤防整備築堤】 日吉川 ・小町川の改修に向け、河道設計を実施	・引き続き、改修中の河川について掘削や堤防整備等を実施 ・小町川の改修に向け、河道計画や地形調査などを実施

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策	■水防活動の資機材整備	①　資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H28年度から実施	網走開建							・福山左岸水防拠点整備の検討 ・水防拠点など必要性の検討	・福山左岸水防拠点整備の検討	・福山左岸で水防拠点を整備予定 ・水防拠点など必要性の検討
					振興局							・防災装備品を計画的に整備	・計画的に整備した	・引き続き、計画的に整備予定
					自衛隊							・防災装備品を上級部隊に要望	・災害用ドローンの配置 ・人命救助セットの整備	・新規にきた装備品の訓練を実施するとともに、計画的な整備を実施
					北見市							・災害用備蓄品の充実を図った	・災害用備蓄品の充実を図っている	・災害用備蓄品の充実を図る
					訓子府町							・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的に災害用備蓄品の充実を図る
					置戸町							・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的な資機材の導入について検討	・計画的に災害用備蓄品の充実を図る
	ソフト対策	■水防活動に必要な情報の共有	①　迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報共有	H28年度から実施	網走開建							・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
					振興局							・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と情報を共有した	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
					自衛隊							・聞き取り調査に協力	・防災訓練時に各種装備品の情報共有を実施	・資料整理への協力と共有を図る
					北見市							・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き協力と共有を図った	・引き続き協力と共有を図る
					訓子府町							・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動に必要な情報の共有	① 迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報共有	H28年度から実施	置戸町							・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				消防組合							・資料整理への協力と共有を図った ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・資料整理への協力と共有を図った ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・資料整理への協力と共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施
		② 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	引き続き実施	網走開建							・重要水防箇所の見直しを行った ・関係機関と一体となった共同点検を実施	・重要水防箇所の見直しを行った ・関係機関と一体となって共同点検を実施	・必要に応じて重要水防箇所の見直しを行い、関係機関と一体となって共同点検を実施
				振興局							・道管理河川の共同点検に向けた実施方針について検討	・道管理河川の共同点検に向けて、実施方針について検討した	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加予定 ・道管理河川の共同点検の実施方針を検討
				自衛隊							・各自治体と情報共有	・各自治体と情報共有を図った	・各自治体と情報共有を図る
				北見市							・関係機関との共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・引き続き関係機関と一体となって共同点検を実施
				訓子府町							・関係機関との共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				置戸町							・関係機関との共同点検を実施	・関係機関との共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				消防組合							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と一体となって共同点検を実施
	■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	網走開建							・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
				気象台							・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・関係機関主催の訓練等に参加

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動体制の強化	①　関係機関が連携した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	振興局							・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加予定
				自衛隊							・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
				北海道警察							・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
			R1年度から実施	北見警察署							－	・関係機関の訓練等に参加	・関係機関の訓練等に参加
			引き続き実施	北見市							・継続実施	・引き続き実施	・引き続き実施
				訓子府町							・関係機関を交えた総合防災訓練の実施	・北海道総合防災訓練に参加	・国・北海道主催の訓練等に参加
				置戸町							・国・北海道主催の訓練等に参加	・国・北海道主催の訓練等に参加	・関係機関や民間企業を交えた総合防災訓練の実施 ・国・北海道主催の訓練等に参加
				消防組合							・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
		②　水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集（リーフレットやHPを通じた広報活動）や水防協力団体の募集・指定の促進	引き続き実施	網走開建							・継続実施	・継続実施	・引き続き継続実施
				振興局							・継続実施した	・継続実施	・引き続き継続実施
				北見市							・継続実施	・継続実施	引き続き継続実施

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動体制の強化	②　水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集（リーフレットやHPを通じた広報活動）や水防協力団体の募集・指定の促進	引き続き実施	訓子府町							・継続実施	・広報誌を通じて募集情報を周知	・引き続き継続実施
					置戸町							・継続実施	・継続実施	・引き続き継続実施
					消防組合							・継続実施	・継続実施	・引き続き継続実施
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策	■排水活動の資機材整備	①　排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建							・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて見直しを行っていく
					自衛隊							・共有を図った	・幹事会等を通じ情報共有を図った	・引き続き防災会議の場を活用し、情報共有を実施
					北見市							・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
					訓子府町							・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
					置戸町							・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
					消防組合							・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
			②　排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	網走開建							・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策	■排水活動の資機材整備	②　排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	振興局		・管理河川において浸水範囲（実績等）を基に、氾濫常襲地帯等を把握 ・常呂川流域にかかる農地水害連絡会議に参画し、日吉川において排水ピットの設置を行った	・引き続き内水氾濫実績を整理し、必要な排水活動のための検討を実施した	・道区間における浸水等氾濫実績を把握し、必要な排水活動のための検討を行う
	ソフト対策	■排水活動の体制強化	①　既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定や排水機場の操作要領見直し検討を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成	H29年度から実施	網走開建		・排水計画の検討及び策定	・排水計画策定のための検討及び策定	・排水計画策定のための検討を実施し、策定する
					振興局		・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図る
					北見市		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
					訓子府町		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
					置戸町		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
					消防組合		・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
			②　排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	網走開建		・計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施	・引き続き計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施
					振興局		・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加

常呂川 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H30年の取組状況	R1年の取組内容	R2年以降の取組内容
効率的・効果的な排水活動のための取組	ソフト対策 ■排水活動の体制強化	②　排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	北見市							・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				訓子府町							・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				置戸町							・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				消防組合							・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加